

2020 年 11 月 17 日

「インテリジェント被写体認識 AF」に「鳥認識」を追加した
「OM-D E-M1X」のファームウェア Ver.2.0 を公開
鳥の瞳を優先して検出・追尾し、撮りたい瞬間を逃さない

オリンパス株式会社（取締役 代表執行役 社長兼 CEO：竹内 康雄）は、ミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D E-M1X」用ファームウェア Ver.2.0 を 2020 年 12 月 3 日（木）から公開します。AI 技術の一種であるディープラーニング技術を用いて開発された「インテリジェント被写体認識 AF」に「鳥認識」を追加、カメラが自動で鳥を検出し、鳥の瞳に対して優先的にフォーカス・追尾するため、撮りたい瞬間を逃さず、構図に集中して撮影することができます。さらに、プロの映像制作に求められる動画 RAW データ出力に対応するなど、各種性能を向上させています。

■「OM-D E-M1X」ファームウェア Ver.2.0 主な内容

1. 「インテリジェント被写体認識 AF」に「鳥認識」を追加、鳥の瞳まで自動で検出・追尾が可能
2. ATOMOS 社製 HDR モニター／レコーダー「NINJA V」への動画 RAW データ出力に対応
3. 深度合成対応レンズに「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」を追加
4. 動画手ぶれ補正の安定性向上
5. フォーカス距離指標表示の追加



「OM-D E-M1X」

+

「M.ZUIKO DIGITAL

ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」



「OM-D E-M1X」に

ATOMOS 社製「NINJA V」を装着

< 本件に関するお問い合わせ先 >

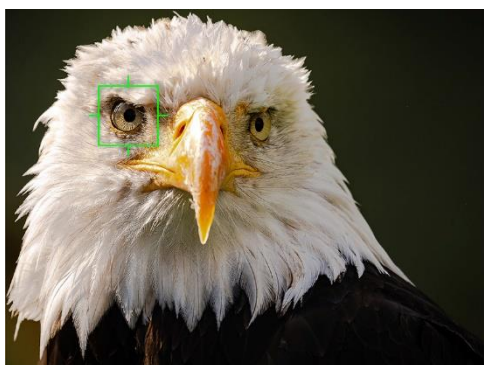
- 報道関係の方：【雑誌・業界紙/誌・Web 媒体の方（経済関連の雑誌・Web 媒体を除く）】
オリンパス株式会社 マーケティングコミュニケーション 鳥居
TEL 03-5738-3489（直通） FAX 03-5738-3792
【新聞・通信社、経済関連の雑誌・Web 媒体の方】
オリンパス株式会社 コーポレートコミュニケーション 報道担当 横田
TEL 03-6901-9954（直通） FAX 03-6901-4344
- 一般の方： オリンパスカスタマーサポートセンター TEL 0570-073-000（ナビダイヤル）
- ホームページ： オリンパスイメージングサイト <https://olympus-imaging.jp/>

■「OM-D E-M1X」ファームウェア Ver.2.0 主な内容の詳細

1. 「インテリジェント被写体認識 AF」に「鳥認識」を追加、鳥の瞳まで自動で検出・追尾が可能

- ・鳥の瞳・頭部・全身を高精度に自動検出・追尾

「インテリジェント被写体認識 AF」に「鳥認識」を追加、小型から大型までの多種多様な鳥を認識します。撮影時は、被写体の鳥の瞳に優先してピントを合わせ、瞳が検出できない場合でも、頭部または全身を検出して追尾します。さらに、鳥の生息地で想定される撮影者と被写体の間に草木などの障害物があるような場面でも十分に効果を発揮し、検出した被写体にピントを合わせ続けるため、撮影者はフレーミングに集中できます。



鳥の瞳を自動検出、追尾



さまざまな撮影条件で効果を発揮

- ・撮りたい瞬間を逃さない「プロキャプチャーモード」に対応

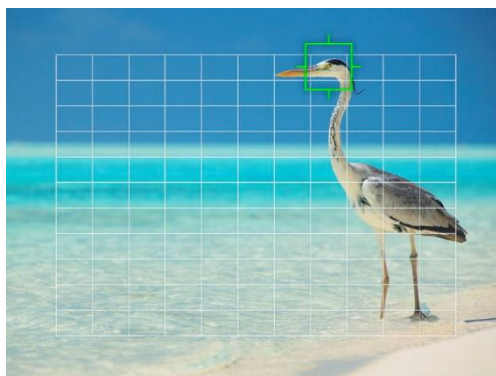
野鳥撮影でも好評の「プロキャプチャーモード」と併用が可能です。鳥の飛翔や捕食の瞬間など、撮影が難しいシーンでも決定的な瞬間を逃さず記録することができます。



「プロキャプチャーモード」使用イメージ

- ・超望遠撮影時でも、フレーム全域で被写体を検出可能

超望遠レンズを含めてどの M.ZUIKO DIGITAL レンズを装着した撮影においても、AF カバーエリア全域で鳥を検出します。画面の周辺部でも鳥を検出できるため、より自由度の高いフレーミングが可能です。



AFカバーエリア全域で鳥を検出可能

2. ATOMOS 社製 HDR モニター／レコーダー「NINJA V」への動画 RAW データ出力が可能

「OM-D E-M1X」で撮影した 4K 30P/25P/24P、Cinema4K 24P 動画を ATOMOS 社製 HDR モニター／レコーダー「NINJA V」へ 12bit RAW データで出力が可能、「NINJA V」へ出力されたデータは ProRes RAW 形式で記録されます。プロの映像制作で求められる撮影後のカラーグレーディングや露出調整など、高度なポストプロダクションに対応します。本機能の使用には「NINJA V」のファームウェアアップデートが必要となります。

「NINJA V」ファームウェアダウンロードサイト：<https://www.atomos.com/firmware/ninja-v>

3. 深度合成対応レンズに「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」を追加

カメラ内深度合成に使えるレンズとして、「M.ZUIKO DIGITAL ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO」を追加し、対応レンズが 11 本※1になりました。

4. 動画手ぶれ補正の安定性向上

動画撮影時の手ぶれ補正制御を見直し、パンニングした際でも、ぶれが少なく、より自然な映像を記録できるように調整しました。

5. フォーカス距離指標表示の追加

MF 時に素早くフォーカスの移動方向や位置の目安をつかむことができる指標の表示を追加しました。

■ 「OM-D E-M1X」、「OM-D E-M1 Mark III」、「OM-D E-M1 Mark II」、「OM-D E-M5 Mark III」用ファームウェアアップデートについて

「OM-D E-M1X」用ファームウェア Ver. 2.0 と同時に、「OM-D E-M1 Mark III」用ファームウェア Ver.1.2、「OM-D E-M1 Mark II」用ファームウェア Ver.3.4、ならびに「OM-D E-M5 Mark III」用ファームウェア Ver.1.3 を 2020 年 12 月 3 日（木）から公開します。ファームウェアアップデートの詳細は、下記 URL からご確認ください。

<https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/dslr/fw/index.html>

■ ファームウェアアップデート後の各機能対応表

| 追加された機能名 | E-M1X ファームウェア Ver. 2.0 | E-M1 Mark III ファームウェア Ver.1.2 | E-M1 Mark II ファームウェア Ver.3.4 | E-M5 Mark III ファームウェア Ver.1.3 |
|-----------------------|------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1.鳥認識機能を追加 | ○ | — | — | — |
| 2.動画 RAW データ 出力に対応 | ○ | ○ | — | — |
| 3.深度合成対応 レンズ追加 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 4.動画手ぶれ補正の 安定性向上 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5.フォーカス距離指標 表示の追加 | ○ | ○ | — | — |

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

※1 「OM-D E-M1X」深度合成対応レンズ：M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO / ED 30mm F3.5 Macro / ED 60mm F2.8 Macro / ED 300mm F4.0 IS PRO / ED 7-14mm F2.8 PRO / ED 12-40mm F2.8 PRO / ED 12-45mm F4.0 PRO / ED 40-150mm F2.8 PRO / ED 12-100mm F4.0 IS PRO / ED 100-400mm F5.0-6.3 IS / ED 150-400mm F4.5 TC1.25x IS PRO